

2022年度 自己点検・自己評価(結果表)

幼保連携型認定こども園 朝日幼稚園

園長 山下 瑞音

今年度の自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上ならびにこども園運営の資質向上につとめてまいります。

実施日	令和4年7月31日
-----	-----------

対象職員	人数
主幹保育教諭	2名
保育教諭	4名
事務	1名
計	7名

A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

【1】保育目標・計画・実践に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育目標の具体化に向け、幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○					今後は年度の保育目標を全職員で検討していきたい。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	○					
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○					
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。				○		
保育について	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。	○					職員間で互いに学び合い、保育を充実させていきたい。
	(2) 幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○					
	(3) 環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○					
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日時程	(1) 一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○				感染症対策で縮小や内容の変更をしている部分はあるが、対策を講じながらできる限りの行事を実施している。保護者アンケートの意見も反映している。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○					
	(3) 幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○					
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				

【2】保育を支える学校運営に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			保育現場においては合同保育等も積極的、柔軟な体制で取り入れられており、また全職員が園児、園児の保護者に関して情報共有ができています。その他の業務では属人化が見受けられるので、運営にかかる部分は全職員が理解、共有していかなければならない。	
		(2) 職務内容が明確で、協議できる体制になっているか。	○					
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○					
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○					
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○				ローテーション勤務のため全職員が会議に参加することが難しい。交代で参加できるようにしたり、どうしても参加できない場合は内容をしっかりと伝えて情報共有を徹底する。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○					
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。			○			
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○					職員間で子どもの課題を共有し、クラス経営に活かしていきたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は、幼児の実態に即して設定しているか。	○					
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○					
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○					
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○					
	(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○						

経営・組織	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			常に情報を集めて子どもの安全のため今後も努力していきたい。感染症対策を行いながら外部の指導も取り入れていきたい。
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
		(4)幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			
研究・研修	園内研究・研修	(1)研究主題は、園目標の具体化につながるものであるか。		○			以前は園内研修は職員会議の際に実施していたが、職員会議に時間を要するためできていなかった。2022年度指導監査でも園内研修を充実させるよう指摘あり。今後充実させていく。園外研修ではキャリアアップ研修、乳幼児教育センター主催の研修への参加は充実しているがそれ以外の実践的な研修への参加が少ない。感染症の動向をみながら、動画視聴ではない実習的な研修への参加もふやしていかなければならない。また研修の内容をひろく職員間で共有できるような体制づくりも必要である。
		(2)園内研修の計画・運営は適切か。			○		
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4)研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	園外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態度の充実を図っているか。		○			
		(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○			
情報について	(1)幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。		○			特に気を付けて実践している。	
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			安全・衛生に関しては担任が責任をもって担ってはいるが、施設としてのリーダー(指導的立場、責任者)が不可欠と考える。体制整備の必要性あり。	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納経理	(1)各種会計を通正かつ適切に処理しているか。		○			適切に行っている。	
開かれた園づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、園目標や課題に添ったものになっているか。				○	保幼小連携活動はよい機会となっている。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。				○	
		(3)指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
		(4)参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。				○	
	家庭との連携	(1)保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			感染症に配慮しながらできる範囲で前向きに行っていきたい。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は、適切か。		○			
		(3)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			「おひさまひろば(未就園児子育て支援事業)」は毎月3回、ほかにも他の子育て支援施設と連携し、子育て相談や制度の説明などを実施している。
		(2)地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1)園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			(2)に関しては引き続き取り組みを継続していく中で、まいこなどのツールも活用して広く周知していきたい。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	将来的に第三者評価を導入していくが、まずは3年前から導入した学校評価の取り組みを充実させていき、着実にすすめていきたい。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			

総評	定員25名の少人数制のこども園として、保育者の目が届きやすくきめ細やかな保育が実践できており、また職員の労務環境への配慮や意見の吸い上げもうまくできている。保育者間のコミュニケーションやチームワークにも問題はない。一方で、他施設との交流や第三者評価など、外部との関りが今後の課題だと思われる。これに加え恒常的な課題として、常に保育観や安全意識のバージョンアップを目標とするべきと考える。
----	---